



## 外国出張報告書

平成 26 年 9 月 16 日

1. 出張国名 モザンビーク
2. 出張月 平成 26 年 4 月
3. 出張目的 モザンビーク北部ナカラ回廊における現地農家圃場実証試験の収穫調査、他:A
4. 成果の概要

JIRCAS が NTCI を幹事会社として結成した共同企業体が受託した JICA 技プロ活動の一環として、モザンビークに出張し以下の調査研究活動を実施した。

- ① 「有用な微生物の選定」活動として、ブラジル Embrapa と協力し、2013/2014 作期にリシंगाの試験圃場で実施しているダイズへの根粒菌接種試験において、FTA カードを用いて着生している根粒の DNA 採取を行った。また、個体ごとに着生状況の写真を撮影するとともに、地上部の一部をサンプリングした。前者は、MTA の下日本に持ち帰ったが、後者は輸入許可の認可を待って日本に持ち込む予定。グルエの Murimo 村と Namiope 村で実施している on-farm 試験からも、同様にダイズの根粒を観察、採取した。
- ② ナンプラ市にて IIAM 主催で開催された「ナカラ回廊農業研究集会」に参加し、「日本チームのナカラ回廊農業研究への貢献」と題するプレゼンテーションを行った。  
中では、JIRCAS-IIAM 独自の研究計画についても触れた。